

ツール・ド・ののいち

～野々市市の地域活性化～

BB303-3

Team Makibatake

牧島亮太・宮崎勇気・村木陸斗・太田裕介・岡本理史・久保田雅貴

トピックス

1. プロジェクトの目的
2. 現状状況
3. 要求仕様①
4. 要求仕様によるイメージ
5. 要求仕様②
6. アイデア創出
7. アイデアの具体化
8. 実行計画
9. まとめ

プロジェクトの目的

野々市市の地域ブランドを創りたい

現状状況

野々市市の特産品を知らない

野々市市の認知度が少ない

住宅地が多い

若者が多い

要求仕様①

問題

目標

野々市市の地域ブランドを創りたい

学生でも参加しやすいイベント

野々市市の特産品の紹介

野々市市の活性化

要求仕様によるイメージ

ツール・ド・ののいち

要求仕様②

問題

目標

ツール・ド・ののいち

文字表現

数値表現

参加年齢

16～25歳

参加人数

800人

特産品売上げ

50万円

アイデア創出

ツール・ド・ののいち

レベル段階別
(初・中・上級)

アクセスがいい

ゴール地点での
特産品販売

アイデアの具体化

- レベル別での距離、制限時間の選定
- レベル別のコース選定
- スタート地点とゴール地点の選定
- ゴール地点での販売商品の選定(野々市特産品)

PD実践で検証

実行計画

レベル別のコース選定方法



図 野々市市内の様子

自転車で野々市市内を走行し、下記の項目を評価する。

- ① かかる時間
- ② 走行距離
- ③ 道路状況

まとめ

「ツール・ド・ののいち」の検討結果を以下に示す。

1. 要求仕様から「ツール・ド・ののいち」を提案した
2. 「ツール・ド・ののいち」の検証項目を挙げた
3. レベル別のコース選定を行う上での評価項目を検討した

PD実践での検証実験を、実行計画書に基づいて段取り良く実行しようと考えている。